



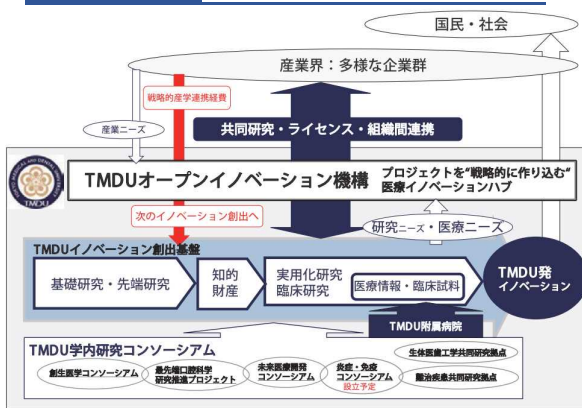
統括CM: 廣川 和憲

本学医学部を卒業し、臨床研修・学位取得後、英国で臨床薬理学を学びました。長年、製薬企業の研究開発部門で働き、経営統合のリーダー、米国開発子会社副社長等も経験しました。役員として、グローバル研究開発責任者、経営戦略本部長、代表取締役副社長兼CFO等を務め、医薬品の研究開発からM&A、資金調達・財務管理等、ビジネスの様々な場面を経験してきました。

統括CMからのメッセージ

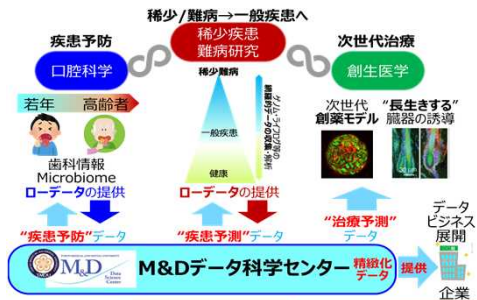
本学のクリエイティブマネージメントチームは、企業経営、研究開発、企画・渉外、財務、営業等の経験を持つ多様な人材が配置され、プロジェクトの創出から進捗管理までを一貫してサポートできる体制となっています。企業側でアカデミアとの提携を推進してきた経験も活かし、アカデミアの成果を社会へ還元することに貢献していきます。本学OI機構の研究分野例は「創薬」ですが、本学の研究室の多方面にわたる活動を反映して、「医薬、再生医療、ゲノム医療、医療機器、ヘルスケア全般」の5つの分野をOI機構の注力研究領域とし、幅広く多彩なプロジェクトポートフォリオを確立して、自立する医療系大学のロールモデルになりたいと考えております。

機構の取組概要



戦略的注力分野

トータルヘルスケア実現に向けた重点領域



- 医薬分野
- 再生医療分野
- ゲノム医療分野
- 医療機器分野
- ヘルスケア分野

主な取組み

- 従来より、本学では産学連携を大学の使命の一つの柱として掲げてきました。OI機構についても、学長直轄の強力な監督・運営体制のもと、「攻めの姿勢」による活動の充実化と、経済的な自立化を図っていきます。
- 本学では、充実した「組織」対「組織」の連携を実現するため、包括連携協定制度のもと、企業様と長期的視点に立った連携を図ることを基本戦略としています。そのための学内体制として、学内シーズの見える化、研究領域・診療科横断型のコンソーシアム構築、さらに産学連携の学内の「橋渡し役」となるOIPロモーター教員制度導入など、ALL TMDUで学内シーズ・リソースを結集し、企業連携に最適な体制整備に注力しています。
- また、イノベーション創出に向けた学内のエコシステムの構築・強化を目指し、企業様から受領する間接経費の学内研究者への還元や人事評価への反映等を含む、新制度の設計を進めています。